

「環境目標登録表」

<p>全社 環境方針 環境目的の枠組み</p>	<p>部門</p>	<p>部門別 環境目的</p>	<p>部門別 環境目標</p>
<p>生産から廃棄に至る活動・製品・サービスに係る温室効果ガスの排出量を、9割削減する。</p> <p>■基準年： 2009年度比</p> <p>■達成年： 2020年度</p>	<p>マーケティング本部</p>	<p>① 歯間ブラシ・グリップ体積（素材焼却によるCO2排出量）の9割削減。 ② 歯ブラシ・ハンドル体積（素材焼却によるCO2排出量）の9割削減。 ③ ブリスタードーム（ケース）体積（素材焼却によるCO2排出量）の5割削減。 ④ パッケージ抜きかす体積（素材焼却によるCO2排出量）の8割削減。</p> <p>（原単位可）</p> <p>⑤ 歯間キャップ体積（素材焼却によるCO2排出量）の5割削減。 ⑥ 内箱・外箱（素材焼却によるCO2排出量）の5割削減。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ パッケージ設計の見直しで材料消費を削減するため、製法、加工法などを検討し、進めている。 ■ 歯間ブラシ及び歯ブラシのパッケージの縮小化。 ■ パッケージ素材の見直しを検討する。 ■ 歯ブラシハンドルの軽量化、短縮化、歯ブラシ部分の交換式、など。 短い歯ブラシの新商品開発を進めている。 （HARIBO、ナノブロックの発売） ■ 生産本部と協働で工程改善をする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物削減：直行率を上げ、不良率を下げる。 ② Wドームにしたことでブリスター機を使用する必要がない。エネルギー消費削減を進めている。 ■ ブリスターパック「ドーム+紙」で廃材（抜きカス）が出ないように仕様にする。 （Wドームを導入したことで、廃棄工程がなくなること、産廃置き場がすっきりしたこと、廃棄コストが節約できることなど効果がある。）
	<p>生産本部</p>	<p>① 不良品発生率の9割削減。 ② 資材・仕掛品等の梱包材等の環境影響80%削減 ③ 製造機材（エレベータ含む）の消費電力を5割削減。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不良品発生原因の再発防止対策実施。 ■ ボビンの再使用化、再利用化（100%完了） ■ 通い箱の長寿命化（10往復⇒100往復、検討中） ■ 高スループット装置への切り替え。 ■ コンプレッサ停止の長時間化。
	<p>営業本部</p>	<p>① 輸送時の燃料（軽油・ガソリン）による二酸化炭素排出量を9割削減。（外部委託、愛宕物流+マルカミ物流） ② 品違い（引取り輸送、廃棄）の解消（ゼロ） ③ 売れ残り（引取り輸送）の8割削減。 ④ 売上100億円達成（100周年まで）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ エコ商品のシェア向上のための営業活動 ■ 注文関連・納品関連のオンライン化（ペーパーレス化）

	<p>管理本部 および 本社共通</p>	<p>① 各部門の削減努力で賄えない分を補てん</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス面積の集約化 ■ 機材等の省エネ化 ■ 太陽光発電 ■ 排出権購入 ■ オフセット植林等 <p>② 用紙の9割削減。</p> <p>③ 室内空調の電力消費の8割削減。</p> <p>④ 室内照明の電力消費の8割削減。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス面積の集約化（50%削減済み、完了） ■ カーボンオフセット（植林委託費用の発生） ■ 排出量取引（排出量の購入費用の発生） ■ 非売品（売れ残り？ 引取り品）の有効利用 ■ 太陽光発電の屋上設置（実績、月平均3,382kwh） ■ 省エネ型エアコンへの交換（80%完了） ■ LED照明への転換（70%完了） ■ エレベータの最新化（1基は使用中止、1基最新化済み、残り1基は2017年春完了予定）
	<p>曾爾産業</p>	<p>① 廃棄物引き取り回数の5割削減。</p> <p>② 製造機材、エレベータ、照明、空調、自動ドア、エアシャワーの消費電力の5割削減。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不良品発生原因の再発防止対策実施。 ■ 廃棄物の水分の除去。 ■ LED照明への転換